

《 剣道専門部の主催大会における確認事項 》

【審判関係について】

- 1 審判旗は「横巻き」とする。
- 2 すべての宣告は大きな声で明瞭に行う。
- 3 試合場の入退場は、3人揃って右足から移動する。
- 4 服装について
 - (1) 役員・監督・部活動指導員及び外部指導者の服装は審判員に準ずる。
 - (2) ネクタイピンを使用する場合は見えないように着用する。
 - (3) ボタンダウンのワイシャツは着用不可とする。
- 5 審判席での言動に注意する。次試合の審判員は、審判旗を両手に持ち、正しい姿勢で着席する。休憩は控室でお願いします。
- 6 審判席は指定です。自席を確認し、それ以外の席の利用はご遠慮ください。
- 7 個人戦は3試合終了後、団体戦は1試合終了後、各試合場ごとに打ち合わせを行います。
- 8 主審は竹刀検量済み、正しい蹲踞の確認後、試合を開始する。(約3秒程度)
- 9 片膝蹲踞の選手は、片膝蹲踞の姿勢のまま「はじめ」の宣告を行う。
- 10 代表者戦について
 - (1) 任意の選手とは補員を含めた7名の選手から選出する。
 - (2) 監督→審判主任(ここで確定) ※時間をかけすぎないようにお願いします。
 - (3) 補欠の選手を起用した場合は、最後の整列には最初の5人で整列する。
- 11 審判割振表は大会当日に配付する。変更等は口頭で連絡します。同支部・母校・師弟関係・家族親戚関係の学校の審判になった場合は、審判主任へ自己申告してください。
- 12 自校の監督が最優先です。審判と重複しそうな時は、審判主任の先生へ申し出てください。監督が終了したときは、速やかに試合場に戻り、審判主任の指示に従ってください。
- 13 自分の審判以外でも、審判を依頼される場合があります。また、準決勝、決勝は自席で見学してください。選出は本部で行います。離席する際は、所在を明らかにしてください。
- 14 審判主任が審判をする際は、審判主任席には副主任の先生が座ってください。
- 15 全試合終了後、閉会式開始までの時間に、各試合場でその日の反省会を審判主任・副主任の先生方を中心に行ってください。審判主任の先生方は、反省用紙に記入し審判部までご提出ください。